

## ＜令和6年度 研修事業 受講者数 受講者の声＞

令和6年度、当教育センターでは、初任段階教員研修を始めとする基本研修、専門研修、担当者研修・協議会等を開催しました。

【受講者数】※延べ人数として集計

研究種別	受講者数
基本研修（初任段階教員研修，中堅教諭等資質向上研修）	129名
専門研修（管理職研修，教科等研修，課題別研修）	386名
担当者研修（教育課程研究協議会・教務担当者研究協議会等）	562名

【受講者の声（一部抜粋）と研修の内容等】

① 基本研修（初任段階教員研修，中堅教諭等資質向上研修）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 来年度以降，学級担任として配属される機会があれば，積極的に学んできたことを発揮していきたい。（1年次）</li> <li>○ 授業のねらいを明確にし，指導と評価の一体化等を意識して，意図的・計画的に取り組んでいきたい。（2年次）</li> <li>○ 日々の生活で，生徒自身が成長を実感できるような学級経営を目指したい。（3年次）</li> <li>○ カリキュラム・マネジメントへの対応力について，研修に参加したり，書籍を読んだりして深めていきたい。（4年次）</li> <li>○ 教職員との連携がうまくできないことがあるため，報告・連絡・相談を大切に今後努力していきたい。（5年次）</li> <li>○ 専門性の項目が改善されたところが多い。研修に参加するなどして向上させることができた。（中堅教諭等）</li> </ul>

② 専門研修（管理職研修，教科等研修，課題別研修）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童へ肯定的な言葉をかけ続けるなど，大切にすべきことを確認でき，学びの多い研修になった。（管理職研修Ⅲ）</li> <li>○ 生徒指導提要の改訂の背景や，生徒指導を充実させるための管理職の役割についてよくわかった。（管理職研修Ⅳ）</li> <li>○ 効果的なICTの使い方や複線型の授業の進め方等，今回の授業を参考にして取り組んでいきたい。（授業改善Ⅰ）</li> <li>○ クロームブックは毎時間使うものとして，日常の実践を積み重ねていきたいと思った。（授業改善Ⅱ）</li> <li>○ 子どもの問題発見・解決を考え，数学の学習サイクルを大切に授業を行っていくことを学んだ。（授業改善Ⅲ）</li> <li>○ 問題行動は，意味やメッセージが込められている心のサインであることを改めて感じた。（生徒指導Ⅰ）</li> <li>○ 不登校傾向にある生徒へのアプローチや，組織で取り組むことの大切さを改めて感じた。（生徒指導Ⅱ）</li> <li>○ 子ども達のために，学校と家庭が密な連携を取り合える環境を努力して作っていかうと感じた。（生徒指導Ⅲ）</li> <li>○ ディスクレシアの理解が深まり，教育的支援を必要とする児童生徒への対応に見通しがもてた。（特別支援教育Ⅰ）</li> <li>○ 合理的配慮がなされているか，子どもは困り感を抱えていないかなど，様々な視点で考えたい。（特別支援教育Ⅱ）</li> <li>○ 他の教員との情報交換や事例検討を通して，多角的な児童理解に努めたいと思った。（特別支援教育Ⅲ）</li> </ul>

③ 担当者研修（教育課程研究協議会・教務担当者研究協議会等）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICTに慣れ，使いこなすことができるような機会を，授業で意識的に設けていきたいと思った。（教育課程研）</li> <li>○ カリキュラム・マネジメントの3つのポイントについての理解を深めることができた。（教務担当研）</li> <li>○ スタートカリキュラムの作成は，幼保の先生方と一緒に検討するとよりよいものになると思った。（幼保小連携研）</li> </ul>

④ 訪問研修および授業改善アクションプロジェクトの主な内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「教育上特別な配慮を要する子どもの特性の理解や指導方法等」について</li> <li>○ 非認知能力に係る研修会</li> <li>○ 改訂された生徒指導提要についての解説を中心とした生徒指導に係る内容</li> <li>○ 道徳教育における授業づくりのポイントおよび教科書・教材等の効果的な活用について</li> <li>○ 「生徒指導提要を踏まえた効果的な生徒指導の在り方」について</li> <li>○ 各教科等における授業改善について（「授業改善アクションプロジェクト」3名実施）</li> </ul>